

# 平成 18 年度ホタテガイ採苗情報（第 3 報）

平成 18 年 5 月 1 1 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

## 「付着稚貝数が増加しています。」

### 1 ラーバの出現状況

5 月 10 日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200  $\mu$ m 未満が 76 個/トン、200  $\mu$ m 以上が 107 個/トンと前回調査時（合計 26 個/トン）より大幅に増加しました。大型ラーバの割合も増加してきています。

調査時の水深 10m 層の水温は 8.2 と、前回調査時より 1.0 上昇し、平成 9~17 年の平均値 (8.5 ) とほぼ同じ値になっています。

### 2 試験採苗器による付着稚貝調査

5 月 2 日以降の調査において、宮古と釜石地区で付着稚貝が確認されました。各調査点の付着数は 0 ~ 42 個/袋でした。

釜石地区の唐丹湾の 43 個/袋をはじめ、宮古地区の両点で付着数が増加しています。

なお、唐丹湾では、付着稚貝の 4 割が付着直後の個体でした。

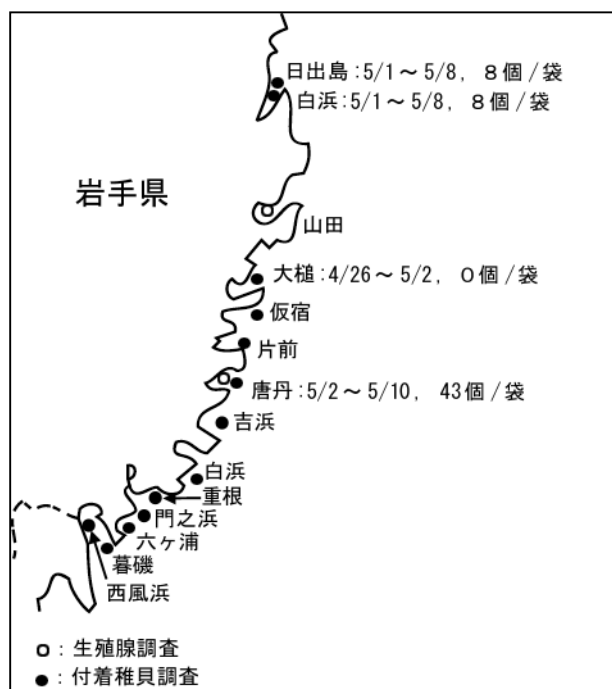


図 調査点と付着稚貝調査結果

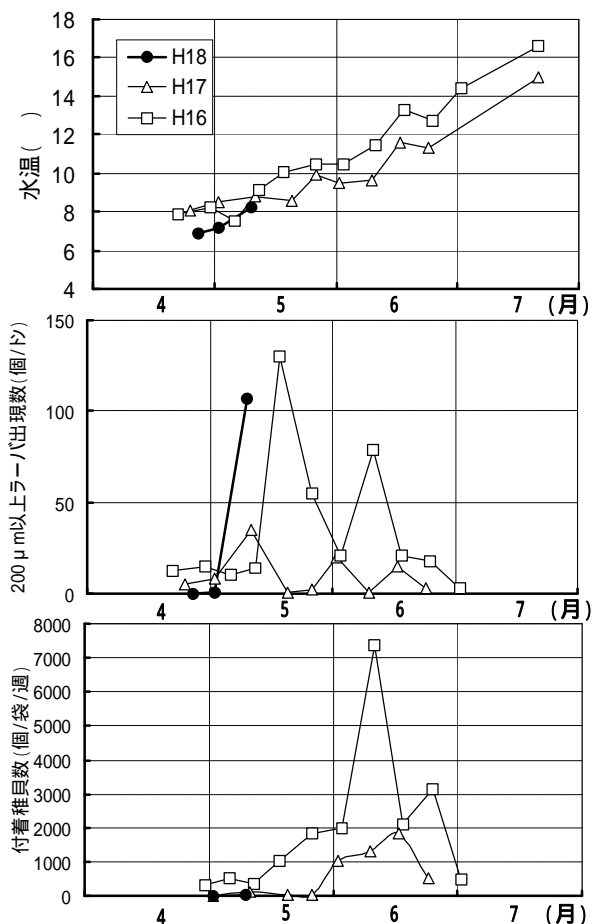


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部では、大型のラーバと付着稚貝が確認されています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

今後の調査結果に十分注意し、採苗器を投入する場合には、数回に分けた分散投入の実施を心がけてください。

次報は、5 月 18 日に発行する予定です。